

女渡世人

1971年（S46）／東映京都／カラー／90分



© 東映

関東流れ者

1971年（S46）／日活／カラー／86分



© 日活

姐御

1969年（S44）／日活／カラー／88分



© 日活

懲役太郎 まむしの兄弟

1971年（S46）／東映京都／カラー／87分



© 東映

女渡世人 おたの申します

1971年（S46）／東映京都／カラー／103分



© 東映

書籍案内

血湧き肉躍る任侠映画

永田哲朗／著

国書刊行会 定価5,280円（税込）

昭和の男たちを魅了した任侠映画九百本超。戦前から任侠映画を観続けた著者が、その源流から爛熟期まで、名優から極悪非道を演じた名悪役まで、とびきり面白い任侠映画の魅力を語り尽くします。

2.5[日]－11[土]

俠客列伝

1968年（S43）／東映京都／カラー／106分



© 東映

出所祝い

1971年（S46）／東京映画／カラー／131分



©TOHO CO.,LTD.

藤純子 引退記念映画 関東緋桜一家

1972年（S47）／東映京都／カラー／101分



© 東映

博奕打ち いのち札

1971年（S46）／東映京都／カラー／106分



© 東映

明治侠客伝 三代目襲名

1965年（S40）／東映京都／カラー／90分



© 東映

商品案内

名画座手帳 2023

のむみち／企画・監修

往来座編集室 定価2,500円（税込）

都内の名画座上映情報を網羅したフリーペーパー「名画座かんべ」発行人ののむみちが全面監修。毎日の予定や映画の感想を書くことの楽しさに加えて、読んでも楽しい、名画座ファン＆旧作映画ファン必携の手帳です。

当館にて販売中

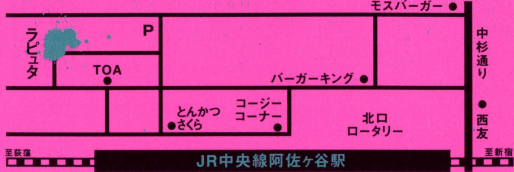
2.12[日]－18[土]

ラピュタ阿佐ヶ谷 スケジュール

		【モーニング】 昭和の銀幕に輝くヒロイン	【メイン】 血湧き肉躍る任侠映画			【レイト】
12月	18[日]－20[火]	〈佐久間良子〉 12.17[土]－23[金] 10:30-12:06 孤独の賭け (96分)	13:00-14:30 (90分) 次郎長遊俠傳 秋葉の火祭り 国定忠治	15:00-16:12 (72分) 国定忠治	17:00-18:10 (70分) 黒い三度笠	19:00-20:34 (94分) 人生劇場 飛車角
	21[水]－24[土]	12.24[土]－30[金] 10:30-12:02 喜劇ゝ夫、責ります!! (92分)	13:00-14:12 (72分) 国定忠治	15:00-16:10 (70分) 黒い三度笠	16:50-18:24 (94分) 人生劇場 飛車角	18:50-20:26 (96分) 人生劇場 続飛車角
	25[日]－27[火]		13:00-14:36 (96分) 次郎長遊俠傳 天城鴉	15:00-16:36 (96分) 人生劇場 続飛車角	17:00-18:27 (87分) 座頭市血煙り街道	18:50-20:24 (94分) 無責任清水港
	28[水]－30[金]		13:00-14:27 (87分) 座頭市血煙り街道	15:00-16:34 (94分) 無責任清水港	17:00-18:36 (96分) 男の紋章	19:00-20:29 (89分) 昭和残俠伝 唐獅子牡丹
1月	31[土]－1[日]	休 館 日				
2月	2[月]	〈田中絹代〉 1.2[月]－7[土] 10:30-11:26 マダムと女房 (56分)	13:00-14:27 (87分) 座頭市血煙り街道	15:00-16:34 (94分) 無責任清水港	17:00-18:36 (96分) 男の紋章	19:00-20:29 (89分) 昭和残俠伝 唐獅子牡丹
	3[火]－6[金]		12:30-14:06 (96分) 男の紋章	14:30-15:59 (89分) 昭和残俠伝 唐獅子牡丹	16:30-18:05 (95分) クレージの殴り込み清水港	18:30-19:59 (89分) 男の顔は履歴書
	7[土]－9[月]	1.8 [日]－14 [土] 10:30-12:10 春琴抄 お琴と佐助 (100分)	13:00-14:14 (74分) 忠次旅日記	15:00-16:35 (95分) クレージの殴り込み清水港	17:00-18:29 (89分) 男の顔は履歴書	18:50-20:22 (92分) 網走番外地
	10[火]－14[土]		12:50-14:23 (93分) 俠花列伝 襲名賭博	14:50-16:22 (92分) 網走番外地	16:50-18:29 (99分) 嵐来たり去る	18:50-20:22 (92分) 男の顔は切り札
1月	15[日]－17[火]	10:30-12:01 女醫絹代先生 (91分)	12:50-14:29 (99分) 嵐来たり去る	15:00-16:32 (92分) 男の顔は切り札	17:00-18:24 (84分) 女の賭場	18:50-20:20 (90分) 解散式
	18[水]－21[土]	10:30-11:59 新篇總輯篇 愛染かつら (89分)	12:50-14:14 (84分) 女の賭場	14:50-16:20 (90分) 解散式	16:50-18:22 (92分) 花札渡世	18:50-20:22 (92分) 博徒七人
	22[日]－24[火]	10:30-11:58 母と子 (88分)	13:00-14:32 (92分) 花札渡世	15:00-16:32 (92分) 博徒七人	17:00-18:30 (90分) 遊俠三国志 鉄火の花道	19:00-20:22 (82分) 東京博徒
	25[水]－28[土]	10:30-11:59 新篇總輯篇 愛染かつら (89分)	13:00-14:35 (95分) 博奕打ち 総長賭博	15:00-16:30 (90分) 遊俠三国志 鉄火の花道	17:00-18:22 (82分) 東京博徒	18:50-20:24 (94分) 血斗
2月	29[日]－31[火]	10:30-11:41 簪 (71分)	12:40-14:25 (105分) 人生劇場 第一部 前篇	14:50-16:24 (94分) 血斗	16:50-18:28 (98分) 緋牡丹博徒	19:00-20:30 (90分) 兄弟仁義 逆縁の盃
	1[水]－4[土]		12:50-14:28 (98分) 緋牡丹博徒	15:00-16:35 (95分) 博奕打ち 総長賭博	17:00-18:30 (90分) 兄弟仁義 逆縁の盃	19:00-20:29 (89分) 地獄の破門状
	5[日]－7[火]	10:30-11:57 陸軍 (87分)	12:40-14:30 (110分) 人生劇場 第二部	15:00-16:29 (89分) 地獄の破門状	17:00-18:30 (90分) 女渡世人	19:00-20:26 (86分) 関東流れ者
	8[水]－11[土]		13:00-14:30 (90分) 女渡世人	15:00-16:26 (86分) 関東流れ者	17:00-18:28 (88分) 姐御	19:00-20:27 (87分) 懲役太郎 まむしの兄弟
2月	12[日]－14[火]	10:30-11:43 お絹と番頭 (73分)	12:40-14:08 (88分) 姐御	14:30-15:57 (87分) 懲役太郎 まむしの兄弟	16:30-18:13 (103分) 女渡世人 おたの申します	18:40-20:26 (106分) 俠客列伝
	15[水]－18[土]	10:30-12:06 女優須磨子の戀 (96分)	13:00-14:43 (103分) 女渡世人 おたの申します	15:30-17:16 (106分) 俠客列伝	18:00-20:11 (131分) 出所祝い	(131分)
	19[日]－21[火]	10:30-12:05 女醫の記録 (95分)	13:00-15:11 出所祝い	(131分)	16:00-17:41 (101分) 関東緋桜一家	18:30-20:16 (106分) 博奕打ち いのち札
	22[水]－25[土]	10:30-12:06 女優須磨子の戀 (96分)	12:30-14:00 (90分) 明治俠客伝 三代目襲名	14:30-16:11 (101分) 関東緋桜一家	16:40-18:26 (106分) 博奕打ち いのち札	19:00-20:30 (90分) 明治俠客伝 三代目襲名

【当日】 一般…1,300円 シニア・学生…1,100円
会員…900円
水曜サービスデー…1,100円均一

●各回定員入れ替え制 ●午前10時より当日の全回分の整理番号付き入場券を発売します。定員48名になり次第、締め切らせていただきます。●混雑状況により、販売開始時刻を早める場合がございます。●上映開始後10分を過ぎてのご入場はお断りさせていただきます。●作品により画像、音声が必要しも良好でない場合がございます。あらかじめご了承ください。



ラピュタ阿佐ヶ谷 TEL.03-3336-5440



http://www.laputa-jp.com/
JR中央線阿佐ヶ谷駅北口徒歩2分
東京都杉並区阿佐ヶ谷北2丁目12-21



任侠映画

血湧き肉躍る

2022.12.18

2023.2.25

※12月31日(土)・1月1日(日)は休館いたします。

私は幼少期より“チャンバラリスト”と称する時代劇ファンですが、現代ものアクションにも目がなく、特に時代劇チャンバラを引きずる“任侠映画”を観まりました。

単に“マゲをつけない時代劇”というのではなく「仁義」とか「掟」に拘束されながらも、世の非条理に対して怒りのドスを振るう男たちの“任侠映画”に私は喝采を送りました。「今の世の中まっ暗闇じゃござんせんか」と嘆き、口惜しくても自分たちじゃ何もできない大衆に代わってワレを叩斬る、その俠気（おとこぎ）にシビれたのです。それはアウトローへの憧れに近いものかもしれません。

弱きを助け、強きを挫く“任侠”の世界にしばし酔おうではありませんか。
——永田哲朗

次郎長遊侠傳 秋葉の火祭り

12.18[日]－20[火]

1955年 (S30)／日活／白黒／90分



國定忠治

12.18[日]－24[土]

1946年 (S21)／大映京都／白黒／72分



黒い三度笠

12.18[日]－24[土]

1961年 (S36)／大映京都／カラー／70分　※16mm



■監督：マキノ雅弘／脚本：八木保太郎、毛利三四郎／撮影：横山実／音楽：松井八郎　■出演：河津清三郎、北原三枝、森繁久彌、三島耕、田中春男

甲州の大親分・黒駒勝蔵を相手に、秋葉の火祭りの夜に大暴れ! ここに清水一家の誕生という痛快時代劇。東宝「次郎長三国志」シリーズ終了後、マキノ雅弘は日活で次郎長を復活させ「秋葉の火祭り」「天城鴉」の二本を。

天保八年。上州国定村の忠治は、干ばつに苦む百姓たちの窮状をみかねて水門を開けようと尽力する。戦後すぐの版妻版『國定忠治』は、GHQのチャンバラ禁止令の中、民衆の味方、農民解放のチャンピオンとして登場し大ヒットを記録。

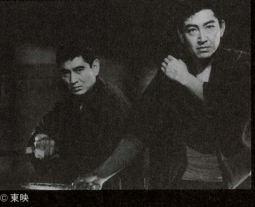
■監督：西山正輝／脚本：浅井昭三郎／撮影：本田平三／音楽：大森盛太郎　■出演：長谷川一夫、水原弘、三田村元、近藤美恵子、月丘夢路、宇治みさ子

関八州のあちこちに現れ、弱きを助け、悪を挫く正義の男“黒い三度笠”。利根の飯岡宿に彼を待っていたのは一。長谷川一夫が大前田英五郎に扮した股旅もの。水原弘のドスの利いた主題歌も印象的で、国定忠治役で出演も。

人生劇場 飛車角

12.18[日]－24[土]

1963年 (S38)／東映東京／カラー／94分



■監督：沢島忠／原作：尾崎士郎／脚本：直居欽哉／撮影：藤井静／音楽：佐藤勝　■出演：鶴田浩二、高倉健、佐久間良子、梅宮辰夫、月形龍之介

尾崎士郎のベストセラー長篇『人生劇場』、残侠篇に登場する好漢やくざ・飛車角に焦点をあて映画化。主演は鶴田浩二、愛人おとよに佐久間良子、弟分宮川に高倉健という豪華キャストを配して大ヒット。東映任侠路線の嚆矢となった。

人生劇場 続飛車角

12.21[水]－27[火]

1963年 (S38)／東映東京／カラー／96分



■監督：沢島忠／原作：尾崎士郎／脚本：相井一抗／撮影：藤井静／音楽：佐藤勝　■出演：鶴田浩二、佐久間良子、梅宮辰夫、長門裕之、月形龍之介

「人生劇場 飛車角」の好調を受けてつくられた続篇。前作の物語から四年後、務めを終えて出所した飛車角が最愛の女おとよを探すうち、瓜二つの女性と出逢うことから新たなドラマが。佐久間良子が一人二役で熱演を披露。

次郎長遊侠傳 天城鴉

12.25[日]－27[火]

1955年 (S30)／日活／白黒／96分



■監督：マキノ雅弘／脚本：八木保太郎／撮影：横山実／音楽：松井八郎　■出演：河津清三郎、森繁久彌、北原三枝、水島道太郎、坂東好太郎、本郷秀雄

「次郎長遊侠傳」の第二作。秋葉を逃れた次郎長らは、伊豆の南端・石廊崎へ。島破りをした黒駒の身内・吃安をたたく斬るか、救うか―。前作の女馬子役で野生的な魅力を発揮していた北原三枝が別人役で再登場、好演をみせる。

座頭市血煙り街道

12.25[日]－30[金]・1.2[月]

1967年 (S42)／大映京都／カラー／87分



■監督：三隅研次／原作：子母沢寛／脚本：笠原良三／撮影：牧浦地志／音楽：伊福部昭　■出演：勝新太郎、近衛十四郎、高田美和、朝丘雪路、小沢栄太郎

盲目のやくざで居合斬りの達人という異色のヒーロー。勝新太郎一世一代の当たり役「座頭市」より、シリーズ後期の中でも出色の第十七作を。No.1剣豪スタア近衛十四郎扮する公儀隠密との宿命の対決に目を見われる。

無責任清水港

12.25[日]－30[金]・1.2[月]

1966年 (S41)／東宝、渡辺プロ／カラー／94分



■監督：坪島孝／脚本：小国英雄／撮影：小泉福造／音楽：萩原哲晶、宮川泰　■出演：植木等、谷啓、ハナ肇、団令子、浜美枝、高橋紀子、平田昭彦、田崎潤

次郎長ものに人気絶頂クレージーキャッツをあてこんだ爆笑喜劇。特技は縄抜け、ホラ吹き剣法。ギャンプル、宴会お手のもの。植木等扮するC調な追分三五郎が、谷啓の石松と意気投合。赤字続きの次郎長一家の救世主となるのだが……。

男の紋章

12.28[水]－30[金]・1.2[月]－6[金]

1963年 (S38)／日活／カラー／96分



■監督：松尾昭典／脚本：甲斐久寿／撮影：岩佐一泉／音楽：鎌田創　■出演：高橋英樹、和泉雅子、大坂志郎、石山健二郎、轟夕起子、井上昭文、近藤宏

やくざ稼業を嫌って医師になった二代目が、父の死により組を受け継ぎ、抗争の真っ只中に飛びこんでいく。東映「飛車角」と同年、日活では本作が登場。たちまちシリーズ化され、高橋英樹のスタアとしての地位を決定づけた。

昭和残侠伝 唐獅子牡丹

12.28[水]－30[金]・1.2[月]－6[金]

1966年 (S41)／東映東京／カラー／89分



■監督：佐伯清／脚本：山本英明、松本功／撮影：林七郎／音楽：菊池俊輔　■出演：高倉健、三田佳子、池部良、津川雅彦、芦田伸介、菅原謙二、水島道太郎

東映任侠路線の中でも最強の興行力を誇った「昭和残侠伝」第二作。舞台は昭和初期の宇都宮。渡世の義理から二代目を襲名し女組長として生きる道を選んだヒロインを体当たりで演じ、艶やかに女の意地を咲かせる。彼女を盛りたてる男たちの存在、壺振り師・梶芽衣子との対決も○。

クレージーの殴り込み清水港

1.3[火]－9[月]

1970年 (S45)／東宝、渡辺プロ／カラー／95分



■監督：坪島孝／脚本：田波靖男／撮影：田島文雄／音楽：萩原哲晶、萩原哲晶、小倉博、ハナ肇、内藤洋子、星由里子、布施明、なべおさみ、平田昭彦

「無責任清水港」の続篇。前作に続いて植木等が抜群のリズム感でC調な追分三五郎を演じ、ハナ肇の次郎長、谷啓の石松とともに悪辣な新興一家をやっつける。明るく、楽しく、エネルギー。座頭市や用心棒まで繰りだすパロディ具合!

男の顔は履歴書

1.3[火]－9[月]

1966年 (S41)／松竹／カラー／89分



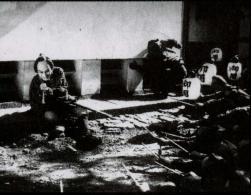
■監督：加藤泰／脚本：星川清司／撮影：高羽哲夫／音楽：林光　■出演：安藤昇、中谷一郎、伊丹一三、中原早苗、角梨枝子、真理明美、内田良平、嵐寛寿郎

加藤泰が松竹大船撮影所に呼ばれ、安藤昇を主演に撮った野心作。敗戦直後の闇市を舞台に、戦中派の医師の数奇な半生、日本人と三国人との対立、国籍を越えた恋や友情が描かれる。タイトルはジャーナリスト大宅壮一の名言句より。

忠次旅日記[デジタル復元版]

※9月[日]は活弁・生演奏付
1.7[土]－9[月]

1927年 (S2)／日活大將軍／染色／無声／74分



■監督・原作・脚本：伊藤大輔／撮影：渡会六蔵、唐澤弘光　■出演：大河内傳次郎、伏見直江、中村英雄、澤蘭子、中村吉次、阪本清之助、磯川元春

伊藤大輔、大河内傳次郎コンビによるサイレント時代劇の金字塔。三部作のうち、第二部「信州血笑篇」の一部と第三部「御用金」の大部分が現存。※本作の適正映写速度は16fpsですが、当館では映写機の仕様上、24fpsでの上映となります。記載の上映時間も24fpsの場合です。※画額についても、本来はサイレント・フルフレームですが、スタンダードでの上映となります。予めご了承ください。

網走番外地

1.7[土]－14[土]

1965年 (S40)／東映東京／白黒／92分



■監督：脚本：石井輝男／原作：伊藤一／撮影：山沢義一／音楽：八木正生　■出演：高倉健、南原宏治、丹波哲郎、待田京介、田中邦衛、安部徹、嵐寛寿郎

北海道・網走刑務所に服役中のやくざ者が、母恋しさに、囚人仲間と手錠につなげられたまま脱獄。冬の大雪原を彷徨い続ける。高倉健の人気を不動のものとした任侠アクション・シリーズ第一作。独特の哀愁に満ちた主題歌も大ヒット。

侠花列伝 襲名賭博

1.10[火]－14[土]

1969年 (S44)／日活／カラー／93分



■監督：小澤啓一／脚本：星川清司／撮影：横山実／音楽：小杉太一郎　■出演：松原智恵子、藤竜也、梶芽衣子、高橋英樹、江原真二郎、深江章喜、見明凡太郎

日活の清純派・松原智恵子がイメージを一新。渡世の義理から三代目を襲名し女組長として生きる道を選んだヒロインを体当たりで演じ、艶やかに女の意地を咲かせる。彼女を盛りたてる男たちの存在、壺振り師・梶芽衣子との対決も○。

嵐来たり去る

1.10[火]－17[火]

1967年 (S42)／日活／カラー／99分



■監督：舩田利雄／原作：富田常雄／脚本：池上金男、星川清司／撮影：横山実／音楽：真鍋理一郎　■出演：石原裕次郎、浅丘ルリ子、長門裕之、葉山良二

元やくざの板前・石原裕次郎が、親友の弟妹、そして将来を誓いあった恋人を守るため、一度は捨てた實を振り回し、包丁片手の大立ち回りみかけり……粹な篇流し姿で大暴れる波乱万丈の大アクション。浅丘ルリ子の芸者も美しい。

男の顔は切り札

1.10[火]－17[火]

1966年 (S41)／日本電映／カラー／92分



■監督：マキノ雅弘／脚本：宮川一郎／撮影：本田茂樹、木下富蔵／音楽：小倉博、小倉博、安藤昇、長門裕之、津川雅彦、平井昌一、東千代之介、南田洋子

昭和初年、東京深川。選挙に立候補するため組を解散した親分が何者かに殺害され、元乾分たちの暮らしにも波風がたつ。「男の顔は履歴書」で好評を博した安藤昇が、今度は大ベテラン・マキノ雅弘監督作に。風来坊に扮して新興やくざの悪事を暴いていく。

女の賭場

1.15[日]－21[土]

1966年 (S41)／大映東京／カラー／84分



■監督：田中重雄／原案：青山光二／脚本：直居欽哉／脚本：津島利章、小林節雄／音楽：池野成　■出演：江波杏子、川津祐介、南廣、酒井修、夏木草、渡辺文雄

名の知れた胴師のお父に罠に陥り、イカサマの汚名を着せられたまま自殺。娘は復讐のため博奕の世界に足を踏み入れる。「入ります」の決め台詞が流行語になった女侠もの、源流、江波杏子主演「女賭博師」シリーズの第一作。

解散式

1.15[日]－21[土]

1967年 (S42)／東映東京／カラー／90分



■監督・脚本：深作欣二／脚本：松本功、山本英明／撮影：星島一郎／音楽：冨田勲　■出演：小林旭、渡辺美佐子、丹波哲郎、宮園純子、渡辺文雄、金子信雄

八年ぶりのシャバで男がみたものは、命を張って勝ちとったシマに立ち並ぶコンビナート群と、元幹部たちによる利権争いだった。深作欣二が後藤浩治プロデューサーとの初タッグで手がけた任侠映画。同路線の全盛期に異彩を放った。

花札渡世

1.18[水]－24[火]

1967年 (S42)／東映東京／白黒／92分



■監督：脚本：成澤昌茂／撮影：飯村雅彦／音楽：渡辺岳夫　■出演：梅宮辰夫、野淵晴子、伴淳三郎、小林千登勢、城野ゆき、安部徹、高橋英樹、西村晃

賭場に現れる妖艶な女・鶴岡晴子 & 老いかさま師・伴淳との出会いが、博徒・梅宮辰夫の人生を変える。「ひも」「いろ」など「夜の青春」シリーズのシナリオを手がけ、梅宮の資質を十分に知り尽くしていた成澤昌茂による任侠ノワール。

博徒七人

1.18[水]－24[火]

1966年 (S41)／東映京都／カラー／92分



■監督：小沢弘弘／脚本：笠原和夫／撮影：鈴木重平／音楽：斎藤一郎　■出演：鶴田浩二、藤山寛美、待田京介、山本麒一、小松方正、山城新伍、大木実

明治中頃、沖ノ島の石切場を舞台に、片目、片腕、片足、盲目……など、ハンディキャップを負いながらも超人的な技を駆使する七人の暴れん坊が、悪党どもを震えあがらせる痛快篇。「博徒」シリーズの第四弾はカルト的な人気を誇る異色作。

遊侠三国志 鉄火の花道

1.22[日]－28[土]

1968年 (S43)／日活／カラー／90分



■監督・脚本：松尾昭典／脚本：星川清司／撮影：岩佐一泉／音楽：池田正義　■出演：石原裕次郎、小林旭、高橋英樹、浅丘ルリ子、大坂志郎、三島雅夫

代貸・石原裕次郎は、親分の非道な振る舞いに腹を据えかね、弟分・高橋英樹、流れ者・小林旭とともに怒涛の脱けこみをかける。三大スタア夢の競演で贈る任侠アクション。旭の「片目の一本松」は人気を呼び、スピンオフ作品も生まれた。

東京博徒

1.22[日]－28[土]

1967年 (S42)／大映京都／カラー／82分



■監督：安田公義／脚本：舟橋和郎／撮影：竹村康和／音楽：小杉太一郎　■出演：田宮二郎、藤村志保、天知茂、春川ますみ、戸屋雁之助、南道郎、星ひかる

昭和初期の浅草。気っ風のいい大道香具師・田宮二郎は貸衣装屋の娘と好きあう仲に。しかし彼女をめぐって地元やくざの親分・天知茂と三角関係になり、遂には一騎討ち。「大」シリーズの人気コンビによる大映印の任侠もの。

博奕打ち 総長賭博

1.25[水]－28[土]・2.1[水]－4[土]

1968年 (S43)／東映京都／カラー／95分



■監督：山下耕作／脚本：笠原和夫／撮影：山岸良樹／音楽：津島利章　■出演：鶴田浩二、若山富三郎、藤村志保、桜町弘子、名和宏、三上真一郎、金子信雄

一家の跡目相続をめぐる兄弟同士の反目が、義理と人情の相克のなか、加速度的に悲劇へと突き進んでいく。笠原和夫の緻密な脚本、山下耕作の格調高い演出、鶴田・若山渾身の名演技。三島由紀夫も激賞した、東映任侠映画の最高傑作。

血斗

1.25[水]－31[火]

1967年 (S42)／日活／カラー／94分



■監督・脚本：舩田利雄／脚本：池上金男／撮影：高村倉太郎／音楽：伊部晴美　■出演：小林旭、高橋英樹、松尾嘉代、北林早苗、小高雄二、郷純治、安部徹

舞台は三州の滑川町。老舗やくざ VS 新興勢力の衝突で、心身ともに傷を追って姿を消した主人公が、三年後、変わり果てた町に戻ってきて報復する。古風な俠客・高橋英樹と、一匹狼の風来坊を軽快に演じた小林旭の取り合わせの妙。

人生劇場 第一部 前篇

1.29[日]－31[火]

1952年 (S27)／東映東京／白黒／105分



■監督：佐分利信／原作：尾崎士郎／脚本：八木保太郎、棚田吾郎／撮影：藤井静／音楽：早坂文雄　■出演：舟橋元、高峰三枝子、島崎雪子、月形龍之介、片岡千恵蔵

三州吉良から上京、早稲田大学に入学した青成瓢吉青年は、初めての酒と女、大学紛争の中で友情と挫折を知る――。大志ある親友たち、味のある教師、任侠道を貫く渡世人など登場人物も多士済々。佐分利信監督作品。

緋牡丹博徒

1.29[日]－2.4[土]

1968年 (S43)／東映京都／カラー／98分



■監督：山下耕作／脚本：鈴木則文／撮影：古谷伸／音楽：渡辺岳夫　■出演：藤純子、高倉健、若山富三郎、山本麒一、大木実、待田京介、清川虹子、金子信雄

闇討ちで殺された父の仇を探して全国の賭場を渡り歩く「緋牡丹のお竜」。回想で現れるヒロインの初々しい娘ぶり、随所に出てくる牡丹の花など、山下耕作一流の画づくりが独特の情緒を盛りあげる。藤純子主演の人気シリーズ第一作。

兄弟仁義 逆縁の盃

1.29[日]－2.4[土]

1968年 (S43)／東映京都／カラー／90分



■監督：鈴木則文／脚本：笠原和夫、梅村貴久生／撮影：吉田貞次／音楽：菊池俊輔　■出演：北島三郎、若山富三郎、大木実、桜町弘子、菅原文太、三益愛子

幼い頃、別れ別れになった母を求めて旅にでた北島三郎と、一匹渡世の若山富三郎が知りあい、二人の間に友情が芽生える。〰親の血をひく兄弟よりも、かたいちぎりの義兄弟……同名ヒット曲から生まれた映画「兄弟仁義」シリーズの第七作。

地獄の破門状

2.1[水]－7[火]

1969年 (S44)／日活／カラー／89分



■監督・脚本：舩田利雄／脚本：星川清司、山崎巖／撮影：横山実／音楽：真鍋理一郎　■出演：小林旭、浅丘ルリ子、高橋英樹、矢戸錠、渡哲也、小杉勇

大正末期の浅草。夫婦約束をした新内語りの男女がやくざの因縁で別れ、生々流転する。小林旭、高橋英樹、渡哲也、矢戸錠、そして浅丘ルリ子。オールスタアキャストによる芸道もの&任侠活劇の佳作。舩田利雄のクレンが楽しめる。

人生劇場 第二部

2.5[日]－7[火]

1953年 (S28)／東映東京／白黒／110分



■監督：佐分利信／原作：尾崎士郎／脚本：八木保太郎、棚田吾郎、舟橋和郎／撮影：藤井静／音楽：早坂文雄　■出演：舟橋元、片岡千恵蔵、高峰三枝子

大学で中退し文学を志す瓢吉、出獄し情婦おとよの消息を求める飛車角、芸者になったおりん、そして老俠客・吉良常の病死。戦争の足音が聞こえる中、彼らの人生もまた翻弄されていく。流麗の佐分利演出がいよいよ冴える第二部。